

第11回 PIERS フォーラム (ハイブリッド方式)

「海辺を活かしたまちづくり」

日時；令和6年(2024年)3月5日(火) 15:00~17:15
会場；SCOPE 会議室 + ZOOM Webinar

学識経験者、民間企業、国土交通省港湾局・地方整備局、地方自治体、財団等の71名
(リアル38名、リモート33名)に参加いただきました。

四面を海に囲まれたわが国ですが、ある全国調査によれば約半数(45%)の人がこの1年の間に海に行ったことがないといえます。しかしワークライフ・バランスが求められる時代になり、地域の暮らしやすさが問われる中、海辺の魅力を活かしたまちづくりが非常に重要になっています。今回のフォーラムでは、2022年に千葉市の稲毛浜に開設された栈橋を含む海浜公園リニューアル事業と英国における海辺のまちの歴史や現状を取り上げました。

セッション#1の千葉市稲毛海浜公園のリニューアル事業は、海との繋がりの一つとして栈橋を導入されていること、また、公募で選定された事業者が整備費を分担することを含めて公共団体と共同でまちづくりの一環として親水空間の充実を進めていることが特徴です。投資環境の厳しい中でPIERS研究会が皆様とともに目指している「海辺を活かしたまちづくり」を展開していくための大きなヒントをいただきました。

セッション#2の「英国の海辺のまちづくり」では、これまで海辺の栈橋やエスプラナード(海岸線沿いに展開する遊歩道ネットワーク)の魅力を語り広めることから始めようと重点を置いて取り組んできたPIERS研究会として、設立10周年の節目にあたり「海辺を活かしたまちづくり」という視点を一層鮮明にして、さらに展開していく起点となるようにこれまでの成果を整理しなおしてみました。

プログラム

主催者挨拶 : 古土井 光昭 (PIERS 研究会会長) <映像>

セッション#1 : 「稲毛海浜公園のリニューアル事業と栈橋」

井本 俊輔 千葉市都市局公園緑地部緑政課活用推進班 主査

城 俊介 千葉市都市局公園緑地部緑政課活用推進班 技師

西田 譲 株式会社ワールドパーク 代表取締役

木村 俊孝 株式会社ワールドパーク

SunsetBeachPark グループ マネージングダイレクター

<発表映像>、<質疑応答映像>、<資料>

セッション#2 : 「英国における海辺のまち」

井上聰史 (PIERS 研究会副会長、政策研究大学院大学客員教授)

<発表映像>、<質疑応答映像>、<資料>